

「神様の導き」

マタイによる福音書 7章7節

聖学院大学 法人事務局長代行 前田 和則

本日は初めて全学礼拝にて奨励の時を与えられたことをまずは感謝いたします。私は1966年5月29日この世に生を受けました。今年で51歳になります。大学生の息子が二人います。ちょうど皆さんのお父さんと同じくらいの年代でしょうか。今日は私が洗礼を受けるに至った証とクリスチャンになってから今思う事をお話したいと思います。

私のキリスト教との出会いはカトリックの幼稚園に入園したことが最初でした。今でもその時の讃美歌やお祈り、ページェントの劇など少し覚えています。卒園後は聖学院に奉職するまでまったくキリスト教との接点はありませんでした。ただ振替えれば漠然と神様へ時々苦しい時など祈ることがあったように思います。

小学校、中学校時代は勉強嫌いで成績も奮わず自分自身コンプレックスをかかえていました。勉強での転機は商業高校へ進学して簿記・会計に触れて初めて興味を持つ教科に出会えたことにあります。この時をさかえに、勉強の楽しさをしました。その後夢は広がり会計士になりたい思いから大学へ進学、1年留年もしましたが道は険しくついに断念してしまいました。卒業後は漠然と食品メーカーの営業として社会人の一步を踏みだしましたが、当然仕事は厳しく壁にもあたり挫け、他の道はないものかと思う日々が続いていました。時はバブル絶頂期、たまたま母校の恩師から長野県にあった校外施設の山荘を建替えるのでそこで働かないかと話をいただき母校中高の事務職員として転職をしました。そうこうしているうちにバブル景気が過ぎ去り、少子化の時代に入りつつありました。皮肉にも転職のきっかけとなった郊外施設建築の借金が重荷となって学校経営が困難となり、ついに経営者が変わりました。経営方針も当然変わり、自分が教わった恩師の数多くが退職されていきました。時が流れるにつれ母校がまるで違う学校へと変貌していきました。約2年が過ぎ、精神的に行き詰まってしまいふと口ずさんだ祈りがあります。「神様、今心から悩み、苦しんでいます。とても精神的につらいです。もしこんな私でも他の学校が必要とするならば転職したいです。」我にかえり、また都合の良い願いを口ずさんでしまったなあ……とと思いました。なぜなら転職するとき母校で生涯勤めようと決心していましたし、今、転職するには年齢的な問題もあり、ましてや他の学校事務職などありえない話だと思ったからです。

しかしそれから1週間がたちました。ふとすでに退職された恩師から1本の電話が入り今の状況を聞かれました。最後に「実は私は今、都内のとある学校の非常勤講師をしている。そこで事務職員の募集があるよ。もし気持ちがあるなら話だけでも聞いてみたら……」という内容でした。心から驚きました。まさかあの時の思い(祈り)がつつたわるとは……。まずは話だけでも聞いてみようと思い、どこの学校か訪ねてみるとミッションスクールの聖学院でした。この時、初めて神様の導きを強く感じました。そ

して翌年2005年4月から聖学院事務職として新たな道を歩みだしたのです。それは聖書に触れる人生の始まりでもあったのです。日々朝の礼拝を通じて聖書に触れる機会が与えられ、更に教会に通うようになりました。そこである時、本日の御言葉に心がとまりました。「求めなさい。そうすれば、与えられる。」これは仕事の意思杖になった簿記・会計を学び自信が与えられたことではないか、「門をたたきなさい。そうすれば、開かれる」祈りを通じて聖学院での奉職の道が開かれたことではないか。今までの人生がどれだけ神様に守られ、支えられてきたか確信に至りました。そこで2009年5月31日ペンテコステ聖日礼拝にて洗礼を受けました。偶然にも自分の誕生日に近い日です。ここからクリスチャンとしての新たな人生が始まったのです。

クリスチャンとして8年が過ぎた現在、仕事上、大きな壁に当たり考え、苦しむ時が多くあります。昔ならあきらめたり、挫折したかも知れませんが今は信じる神様がいます。また、守られ支えられています。決して神様はすぐに答えを与えてくれません。考え、苦しんだ末に答えが与えられること確信しています。また、答までのプロセスが自分自身の糧となり、これもまた恵みだと考えられるようになりました。今、本日のもう一つの御言葉「探しなさい。そうすれば、見つかる。」の導きを信じて日々仕事に励んでいます。聖書の御言葉は人によって、時によって本来の解釈とは違うかも知れませんが少なくとも私にはこのように感じられます。

最後に皆さん、人はそれぞれ個性があり、自分自身が他人より劣っていると感じて、必ずすばらしい他の人にはない賜物を神様から授かっているはず。今、悩み苦しんでいる人がいればどうかあきらめないでください。過去は戻りません。これから未来に向けてどう生きるかが大切です。まだ遅くはありません。本日の御言葉のように「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」神様は必ず努力する人を見守り導いてくれます。未来に向けて、社会人として大きく羽ばたいていってください。

お祈りいたします。恵み深き愛する天の父なる神様。本日は全学礼拝奨励の時を与えてくださり感謝いたします。求める者に時には厳しく、しかしいつも暖かく見守り手を差し伸べてください。大切な学生の将来を導きお支えください。教職員の歩みを強め、学生の道しるべとなれますように。この時を感謝してそれぞれの祈りと合わせて尊き主イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン

2017年11月10日 聖学院大学 全学礼拝(シリーズ礼拝)